

廃棄物処理施設見学バスツアーの実施結果について（平成27年度第1回）

栃木県環境森林部廃棄物対策課

1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、一般家庭から出るごみや住宅の解体工事、自動車の製造過程から出るごみ等を処理する施設であって、県民の皆様の生活や地域の経済活動を支えるために必要不可欠なものです。

しかし、普段の生活で廃棄物処理施設を実際に見る機会は非常に少ないのが現状です。

そこで、県では、平成22年度から、関係団体と連携し、県民の皆様に直接施設を見学していただき、廃棄物処理施設に対する理解を深めてもらうことを目的としたバスツアーを企画しています。

2 ツアーコンセプト

今回のツアーでは、破碎施設や焼却施設における廃棄物処理の様子や食料品製造工場における食品残さ等のリサイクルの様子を通じて、廃棄物や廃棄物処理施設について学んでいただけるようなツアーとしました。

3 実施日

平成27年8月5日（水曜日）

4 参加者

40名（うち小学生10名）

5 見学ルート

8:45 県庁出発

10:00～11:30 ハウス食品(株)関東工場

【佐野市にある食料品製造工場。カレールウの製造ライン、廃棄物の保管場所等を見学】

13:15～14:00 泉工業(株)

【佐野市にある廃棄物の破碎施設。廃棄物が破碎処理される工程、環境配慮への取組等を見学】

14:10～16:00 住友大阪セメント(株)

【佐野市にある産業廃棄物の焼却施設。産業廃棄物が焼却処理される工程、木質チップを燃料とした発電設備等を見学】

17:15 県庁到着



6 当日の様子

- ・ 参加者の皆さんは、大変熱心に施設を見学していました。また、質疑応答の際には、廃棄物の処理方法、環境対策等に対して多くの質問が出され、施設の担当者と活発なやり取りがありました。
- ・ 参加者のアンケートには、「リサイクルのために、手間や費用をかけることも惜しまない企業努力に感動を覚えた。」「住宅を解体した木材が発電燃料としてリサイクルされていることに驚いた。」等の意見が寄せられました。

7 今後について

今年度第2回目のバスツアーを11月下旬に開催予定です。詳細は県民だよりや県廃棄物対策課のホームページ等でお知らせします。

廃棄物処理施設見学バスツアー(平成27年度第1回)アンケート結果

参加者: 40 名

有効アンケート回答数: 40 件

Q.1 性別を教えてください。 & Q.2 年代を教えてください。

(単位: 名)

男性	女性	~ 19	20 ~ 29	30 ~ 39	40 ~ 49	50 ~ 59	60 ~ 69	70 ~ 79	80 ~
22	18	12	0	3	7	7	7	4	0

Q.3 バスツアーをどのように知りましたか。(複数回答有)

県民だより	新聞記事	ホームページ	学校からの紹介	家族等の紹介	その他
15	4	5	4	9	3

Q.4 参加の理由は何ですか。(複数回答有)

環境・廃棄物に興味	処理施設を見たことがない	その他
18	22	3

Q.5 ハウス食品(株)関東工場について

良かった	つまらなかった	どちらでもない	無回答
37	0	2	1

ゴミを出さない工夫や衛生面への配慮に驚いた。

Q.6 泉工業(株)について

良かった	つまらなかった	どちらでもない	無回答
36	0	3	1

木材はただのゴミだと思っていたので、資源エネルギーになる工程を見学出来て良かった。

Q.7 住友大阪セメント(株)について

良かった	つまらなかった	どちらでもない	無回答
37	0	2	1

セメントの原料に廃棄物(木くず、下水汚泥等)が使われていることを初めて知りました。

Q.8 今回のバスツアーは、廃棄物の処理や廃棄物処理施設に対する理解を深める上で参考になりましたか。

参考になった	参考にならなかった	どちらでもない
37	0	3

Q.9 Q.8で「参考になった」と回答した方にお聞きします。具体的に何の理解が深まりましたか。(複数回答有)

処理施設の役割	処理施設の安全性	製造業者の取組姿勢	処理業者の取組姿勢
23	12	13	6